

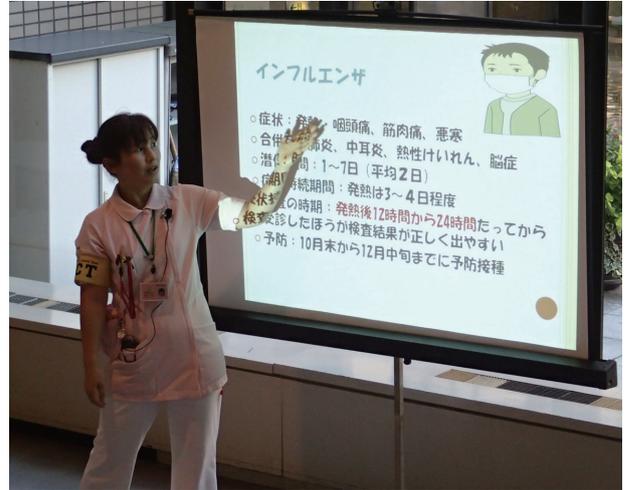


## ナースが行ういきいき健康講座 が始まりました!

今年度も全4回シリーズで、「ナースが行ういきいき健康講座」を開催していきます。

第1回目は「ノロノロしてられない!! 冬に流行する病気の豆知識」をテーマに、10月28日(火)に開催しました。感染管理認定看護師の生田が講師となり、感染症を予防するための豆知識をお伝えしました。

これからの季節に流行するインフルエンザ、RSウイルス感染症、A群溶連菌感染症、感染性胃腸炎(ノロウイルス、ロタウイルス)、水ぼうそうなどの感染症の特徴や予防方法を、わかりやすくお伝えしました。やはり感染症の予防の基本は、手洗い・うがいに尽きます。参加していただいた皆さんは、効果的な手洗いの練習もしました。



そのほかにも家庭での消毒薬の作り方の話をするなど、楽しい講座となりました。

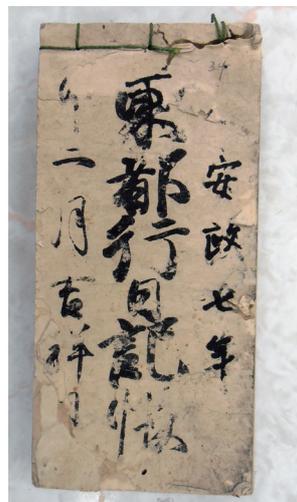
また、感染管理認定看護師の生田は感染に関する出張講座も行っています。興味のある人は、市民病院看護管理室までお問い合わせください。

## 碧南の歴史へのいざない

### NO.8 江戸時代の旅にかかったお金は?

右の「東都行日記帳」は、鷲塚・伏見屋新田・平七・棚尾・大浜の5つの村の代表9人が、幕府に呼び出されて、安政7年(1860年)の2月から江戸に出かけた際の記録です。

江戸時代は金・銀・銭の3種類の貨幣単位が使われていました。この日記が書かれたころは金1両が銀50~60匁で、銭6,000~7,000文ほどと考えられます。また、貨幣価値は一定ではなく、世情が不安定な幕末に近づいたころはかなりのインフレだったようです。



△東都行日記帳(市所蔵)

### 問合せ 文化財課内市史資料調査室 ☎(41)4566

「東都行日記帳」から安政7年当時のおもな物価を見てみました。

宿泊代(1泊2食付き)500~600文、昼食代100~200文、うどん・そば30~50文、玉子16文、大福16文、いくよ餅(あんつきの焼餅)30~50文、だんご32文、まんじゅう8文、おはぎ48文、お茶と菓子50文、あんま24文か50文、髪結い32文、湯(風呂)20文、わらじ20文前後、傘324文、駕籠(沼津~三島間)100文、矢作川越え115文、芝居見学300文、相撲観戦400文です。

ちなみに現在の貨幣価値に換算すると、1文はおよそ10円ぐらいに相当すると考えられます。

当時は、このあたりから江戸まで徒歩で片道10~12日もかかっていましたので、なにかと出費がかさみました。歩行疲れの筋肉痛に多くの薬代も必要でしたし、旅の途中で病死するなど、無事に帰ることのできない旅人も結構いたようです。旅は命がけだったのかも知れませんね。